

【意見】

震災がれきは義援金等では解決できない問題となっています。沼田市でも受け入れを表明して、日本全国でがれきを処分しないと次なるステップへ行けません。先に手を挙げるべきと思います。絆とよく聞きますが迷惑なものは避けるでは絆にはなりません。震災がれき受け入れをお願いします。

男：40代、沼田市在住

【回答】

災害廃棄物の広域処理は非常に大切な問題であり、既に国・県より災害廃棄物の広域処理について協力要請がきているところではありますが、沼田市一般廃棄物最終処分場につきましては、平成23年度の残容量調査の結果、3,450立方メートルと残容量が少なく、新年度から外部委託による処理を予定していること、また、沼田市外二箇村清掃施設組合が運営する清掃工場は、1日当たりの可燃物処理能力が約65tであります。市民から出される可燃ごみの処理で余裕がないため、現状では災害廃棄物の受け入れは難しい状況であります。

担当：市民部環境課